

主要行等の令和4年9月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 令和4年9月期について、業務純益は、米国等での金利上昇に伴い外債を中心に債券等関係損益が悪化したものの、為替影響や投資信託解約益の増加等による資金利益の増加を主因に、前年同期比17.8%増加。一方、当期純利益は、一部銀行の事業再編に伴う会計処理等の特殊要因等により、前年同期比29.1%減少。

（単位：億円）

	R2年9月期	R3年9月期	R4年9月期	前年同期比
業務粗利益	53,512	53,822	59,376	5,554
資金利益	24,339	26,168	34,647	8,479
役務取引等利益	16,272	18,221	18,982	761
その他業務利益	5,330	2,928	3,856	928
うち債券等関係損益*	3,700	1,264	▲6,426	▲7,690
経費	▲33,454	▲34,147	▲36,318	▲2,171
業務純益	20,388	20,127	23,715	3,588
コア業務純益*	8,795	10,816	21,745	10,929
コア業務純益*（除く投資信託解約損益）	8,749	10,169	16,318	6,149
与信関係費用**	▲5,826	▲763	▲4,001	▲3,238
株式等関係損益	86	2,283	2,447	163
親会社株主に帰属する当期純利益	10,514	18,577	13,174	▲5,403

*債券等関係損益、コア業務純益については銀行単体ベース。**与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）	R2年9月末	R3年9月末	R4年9月末
貸出金（末残）***	319.7兆円	313.5兆円	353.3兆円

***貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権残高は令和4年3月末に比べ減少、不良債権比率は低下。

	R3年9月末	R4年3月末	R4年9月末
不良債権残高	2.5兆円	3.4兆円	3.3兆円
不良債権比率	0.73%	0.92%	0.81%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、Tier1比率、普通株式等Tier1比率は、令和4年3月末に比べ低下。

- 国内基準行の自己資本比率は、令和4年3月末に比べ上昇。

（国際統一基準行：4グループ）

（国内基準行：3グループ）

	R4年3月末	R4年9月末
総自己資本比率	15.72%	14.40%
Tier1比率	13.87%	12.72%
普通株式等Tier1比率	12.35%	11.27%

	R4年3月末	R4年9月末
自己資本比率	11.56%	11.63%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストHD（以上、国際統一基準行）、りそなHD、新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。

（注4）各グループ公表資料等より、金融庁作成（公表数値の定義はグループにより異なる場合がある。）。